

【第13期 廃棄物減量等推進審議会の答申（案）について】

- 1 諮問事項「ごみ減量・資源化に向けた今後の施策のあり方について」
 - (1) 「クリーンメイトこだいら」による活動の一環として、3Rの取り組みを行っている街の小規模な小売店の調査を行い、新たに小規模店舗のための「エコショップ（3R推進協力店）認定制度」を設けると共に、HPやアプリにより、その情報を発信していく。
 - (2) 「食物資源循環事業」や「生ごみ処理機購入補助事業」の充実を図り、燃やすごみの中で大きな割合を占めている食物残渣を減らしていく。
特に「食物資源循環事業」は、目標として3,000世帯を目指す。

- 2 諮問事項「ごみ減量・資源化に向けた市民・事業者・行政の協働のあり方について」
 - (1) 「クリーンメイトこだいら」との連携を強化する。また、その底上げのために、イベントボランティアを中心に、募集活動にも重点をおき、様々な分野から多種多様な人材を糾合する。
 - (2) 市民ボランティアのネットワーク化と、新しい組織の立ち上げに向けたワークショップ等を開催し、協働の具体的な母体（組織）を構築する。